

生涯現役で活躍できる 社会づくり

県では、「団塊・ポスト団塊世代」等の皆さんが、生涯にわたり元気で生きがいを持って生活できる社会の基盤づくりを進めることとしています。



高齢者は、社会に「支えられる人」ではなく、 社会を「支える人」です！

そのため、高齢者の方々が魅力を感じるような活動づくり、スムーズに地域活動するための環境づくりを推進します。

「生涯現役社会づくり講演会・ パネルディスカッション」 を開催！

基調講演者
青森大学教授 見城 美枝子氏

「生涯現役社会づくり」がなぜ必要なのか皆さんと一緒に考えましょう。



多数のご参加をお待ちしています。

なお、参加申込みは、電話またはFAX(017-734-8090)で

青森

日時: 8月31日(月) 13:30~15:30
場所: 青森グランドホテル 2階「平安の間」
申込締切: 8月14日(金)

八戸

日時: 9月4日(金) 13:30~15:30
場所: 八戸プラザホテル プラザアーバンホール「芙蓉の間」
申込締切: 8月14日(金)

弘前

日時: 10月19日(月) 13:30~15:30
場所: 弘前パークホテル 4階「ラ・メエラ」
申込締切: 10月2日(金)

高齢福祉保険課 ☎017-734-9296

農商工連携による新商品 開発等を支援します

県では、農商工連携による新商品開発等の取り組みについて、構想段階から事業化まで一貫して支援します。

農商工連携とは？

中小企業者と農林漁業者が協力し、お互いの強みを生かして、新商品や新サービスの開発などを行うことをいいます。

なぜ農商工連携？

中小企業者や農林漁業者が持つ技術やノウハウ、安全・高品質な農林水産物の生産など、それぞれの強みを持ち寄って、創意工夫することにより、単独の取り組みではできない、新商品や新サービスの開発を促進するため、昨年、農商工等連携促進法が制定されました。

この取り組みが進むことで、中小企業者と農林漁業者が元気になる、地域経済の活性化につながることが期待されます。

農商工連携の事例

法に基づく事業計画の認定を受けました。
(平成21年3月末現在)

- ① 八戸市の食品加工会社とむつ市の農業協同組合の連携による、下北地方の低アミノ酸米を活用した「冷凍押し寿司」の開発
- ② 津軽地方の醤油メーカーと農業生産法人が連携し、醤油メーカーから半径500マイル(800km)以内で収穫された、安全・安心な小麦・大豆を使用した品質の高い醤油の開発

よくわからない相手との連携は不安…

中小企業者と農林漁業者は、これまで交流の機会が少なかったため、相互の事業活動に関する情報が不足しています。このため、県では両者の交流の場を提供します。

資金面での支援はあるの？

- ① 事業基礎調査支援 事業化に向けた基礎調査の費用を補助します。
- ② ファンド運用益による助成 新商品開発等の費用を補助します。
- ③ 県特別保証融資制度 中小企業者の事業化に向けた資金の確保を支援します。

農商工連携のご相談はこちらへ

- (財)21あおもり産業総合支援センター ☎017-777-4066
- 青森県商工会連合会 ☎017-735-4331
- 青森商工会議所 ☎017-734-1311
- 弘前商工会議所 ☎0172-33-4111

- 八戸商工会議所 ☎0178-43-5111
- 青森県中小企業団体中央会 ☎017-777-2325
- 八戸信用金庫 ☎0178-44-3517